



Cisco Elastic Services Controller のアップグレードに関するトラブルシューティング

- [Cisco Elastic Services Controller のアップグレードに関するトラブルシューティング \(1 ページ\)](#)
- [Cisco Elastic Services Controller のアップグレードのロールバック \(2 ページ\)](#)

Cisco Elastic Services Controller のアップグレードに関するトラブルシューティング

問題に関する説明 :

ESC アップグレードアプローチの選択の仕方がわかりません。

説明 :

ESC アップグレードには 3 つのアップグレードアプローチがあります。以下は、ESC セットアップをアップグレードするための最良のアプローチを選択するための参照基準です。

ソリューション :

- アップグレードパスが ESC パッチビルド間 (たとえば、ESC 3.1.0.116 から ESC 3.1.0.145 へのアップグレード) の場合は、RPM アップグレードを最初の選択肢として検討してください。
- アップグレードパスが ESC 公式 FCS リリース間 (たとえば、ESC 3.0.0 から ESC 3.1.0) の場合、RPM アップグレードはその状況では機能せず、イメージアップグレードのみを実行できます。
 - 正常な ESC HA の場合は、インサーブスアップグレードを検討してください。
 - マスター VM のみを使用するスタンドアロン ESC または ESC HA の場合、データベースのバックアップまたは復元アプローチを採用します。

Cisco Elastic Services Controller のアップグレードのロールバック

問題に関する説明 :

アップグレードがうまくいかず、ロールバックしたい。

説明 :

ESC アップグレードには 3 つのアップグレードアプローチがあります。以下は、ESC セットアップをアップグレードするための最良のアプローチを選択するための参照基準です。

ソリューション :

ESC のインストールとアップグレードに関する 2 つの重要なポイントは次のとおりです。

- ESC または ESC HA を正常にインストールしたら、完全な `bootvm.py` コマンドラインを記録に残します。その `bootvm.py` コマンドラインは、次にイメージアップグレードアプローチを使用して ESC アップグレードを実行するとき使用できます。
- ESC のアップグレード中に、ESC データベースのバックアップを取得してください。データベースをバックアップする前に、ESC サービスを停止し、サービスが停止状態になるまで待ちます。

例 :

```
#ESC backup DB ESC 2.X:
$ sudo /opt/cisco/esc/esc-scripts/esc_dbtool.py backup --file
scp://<dest_user>:<dest_password>@<dest_host>:/tmp/db.tar.bz2
```

```
#ESC backup DB ESC 3.X and up:
sudo escadm backup --file /tmp/db.tar.bz
scp /tmp/db.tar.bz <dest_user>@<dest_host>:/tmp/db.tar.bz
```

- データベースのバックアップを取得すると、ESC のアップグレード手順中または後に問題が発生した場合に、ESC のアップグレードを簡単にロールバックできます。

データベース バックアップ ファイルに `bootvm.py` コマンドが記録されている場合は、次の方法で ESC アップグレードをロールバックできます。

- インサービスアップグレードを実行していて、古いプライマリ ESC VM を削除していない（または古いプライマリ ESC VM の名前のみ変更している）場合は、まずアップグレードされた VM インスタンスを削除してから、古い（名前が変更された）プライマリ ESC を有効にできます。この場合、データベースは古いプライマリ VM に変更を加えることなく保持されます。古いリリースイメージがあるレコードから完全な `bootvm.py` コマンドラインを使用して、バックアップ ESC VM を再インストールします。再展開されたバックアップ VM のデータベースは、プライマリ VM から自動的に同期されます。データベースを復元する必要はありません。
- 古いバージョンのプライマリ ESC VM とバックアップ ESC VM の両方を削除した場合、またはスタンドアロン ESC の DB バックアップ/復元アップグレードを実行している場合

は、古いリリースイメージがあるレコードから完全な `bootvm.py` コマンドラインを使用して、ESC VM を再展開します。次に、データベースの復元ガイドに従って、ロールバックのためにデータベースを復元します。DB を復元する前に、ESC サービスを停止し、サービスが停止状態になるまで待ちます。

例：

```
#ESC Restore DB ESC 2.X:
$ sudo /opt/cisco/esc/esc-scripts/esc_dbtool.py restore --file
scp://<dest_user>:<dest_password>@<dest_host>:/tmp/db.tar.bz2

#ESC Restore DB ESC 3.X and up:
scp <src_user>@<src_host>:/tmp/db.tar.bz /tmp/db.tar.bz
sudo escadm restore --file /tmp/db.tar.bz
```


翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。